

あきやま子どもクリニックニュース2016年8月号

夏休みになり、お出かけされる機会があることでしょう。出かけることは子どもたちにとって大イベントです。何をするのか一緒に考えたり、計画を話してあげたりすることで、子ども達は出かける前から楽しむことができます。ぜひ、たくさんお話してみてください。



院長より

「かかりつけ医のご案内」



今年4月より、国は子どもたちにかかりつけ医を持ってもらうように制度を作りました。当院はかかりつけ医になれる条件をみたしています。しっかりとその役割をはたせるようにしたいと思います。

当院では発達段階に応じた助言・指導等の健康相談に応じ、予防接種に関する指導・スケジュール等に関する助言を行っています。また、アトピー性皮膚炎や喘息等の慢性疾患の指導管理を行っています。病気に関する相談に応じます。夜間・休日には当地区では、小児救急電話相談事業#8000・ひまわり『救急受診ガイド』等が利用できませんが、それだけでは対応が難しい場合など、緊急の相談に対応します。

もちろん、他の医療機関もこれまでとおりに利用できます。

かかりつけ医会員サイトを開設しました。会員用で、予防接種など当院の情報を一般より早くお伝えします。

【対象となる方】

当院に2回以上受診し、3歳未満または未就学児で3歳未満から受診している方です。

ぜひご検討いただき、ご希望の方は受付までお申し出下さい。同意書をお渡しいたします。

病児保育室便り

あきやまルームには大きな窓があります。日中はカーテンを開けて外が見えるようにしています。外を通るもので、お子さん達が一番喜ぶのは、ゴミ収集車です。バックする音が聞こえたり、ゴミ収集車が見えると、遊んでいたおもちゃを置いて窓のところまで行き見えています。ゴミ収集車が行ってしまうと、残念そうに「行っちゃったね。」「また来るかな?」「どこに行ったの?」とスタッフに聞いています。スタッフが「違うところにゴミを集めに行ったんだよ。」と答えると、行った方向をしばらくの間見っていました。

(文責 千葉美香)

最近の流行っている病気

突然の高熱が4～5日続く風邪や、ヘルパンギーナの夏風邪がみられます。嘔吐・下痢の急性胃腸炎、咳がひどいマイコプラズマ感染症、結膜炎をおこすアデノウイルス感染もみられています。

感染症として、水痘、突発性発疹、溶連菌感染症、流行性耳下腺炎があります。

訪問看護ステーション

先生についてご自宅へ訪問診療へ行く機会が増えてきました。呼吸器などの医療機器を必要とし、在宅で生活する子ども達の診療です。診療内容は、予防接種や状態の観察です。小児の在宅医療は広がってきています。小児を対象とする訪問看護は増えてきていますが、訪問診療はなかなか増えてはきていないのが、現状だと思います。小児の在宅医療が広がり、社会へ浸透していくことが、子どもたちと家族の生活を支えていけることに繋がって欲しいと願います。

(文責 梅田可愛)

今月の代診と休診



- 2日(火) 午後診療 宗像先生
4日(木) 午後診療 宗像先生
5日(金) 午後診療 宗像先生
6日(土) 早朝・午前診療 西堀先生/宗像先生
26日(金) 午後診療 宗像先生
27日(土) 早朝・午前診療 宗像先生
木曜日の午前診療は西堀先生です。
夏休みは8月8日～21日です。